

令和5年4月17日
(独)家畜センター
鳥取牧場

令和5年の鎌入れを実施

家畜改良センター鳥取牧場では、黒毛和種の改良増殖のため、約350頭の肉用牛を飼養しており、必要な粗飼料を毎年生産しています。

3月から全国的に非常に暖かい日が続いた影響で、牧草の生育も旺盛となっていました。4月17日にイタリアンライグラスの早生品種のほ場が出穂期を迎え、草丈120cm程度になっていたため、今年最初の収穫作業(通称、鎌入れ)を実施しました。

10月頃までオーチャードグラス主体の混播牧草や、飼料用トウモロコシの収穫作業が続くため、事故の無いよう安全な機械操作を心がけ、良質な飼料生産に取り組めます。

